

定期報告

2011年6月4日(土)

天候:晴れ 温度:21℃ 湿度:59% 風:

放射線量:0, 11Sv/h:持参線量計 palmRAD Dosimeter Model 1621M (BNC)

食事 朝:ご飯、味噌汁、ハムエッグ、トマト、漬物、さんまの缶詰、のり、りんご、しそあんず
昼:まぜご飯、かつげ、唐揚げ、エビチリ、漬物、フルーツ
夜:釜石にて外食

氏名:西村 宜朗(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床

7:00 朝食

7:30 小笠原医師チーム到着

8:00 町田チームミーティング

大槌病院仮設予定場所を確認。外国の寄付によるものなのか外国人が通訳を利用して建築指示しているようだ。モダンな雰囲気の前ハブとなっている。ライフラインの復旧がもう少しかかるため開院にはまだ時間がかかりそうだ。

8:45 救護所ミーティング

9:00 業務開始、土曜日の割には込み合う

12:00 昼食、初めて食べる南部料理の「かつげ」に感動

13:00 午後診療開始

13:30 大槌再興祭り

カストイ入りの状況確認へ小笠原医師、看護師1名、西村を残し出発。

15:00 大槌高校に戻ってくる。業務に復帰。

16:00 業務終了。

17:30

小笠原医師の誘いで釜石市へ夕食をとりに出発。

救護所を必要とする患者様への連絡体制を確認して出発。

21:00 大槌高校へ戻る。歓談。

22:00 就寝

朝のミーティングについて

本日は中田薬局の中田薬剤師が在庫の確認にいらした。数日前に救護所奥から見つかったOTCの処理について話した。小笠原医師と3名での協議の結果、手がついているものを捨ててしまうのは惜しいため、受診時に必要な人に積極的に渡すことにした。保健師より引き継ぎ事項の確認。避難所代表より本日のお祭りの案内。

医師、薬剤師不在時の救急体制

西村の電話番号を避難所代表に伝え、必要時は電話するようお願い。あらかじめ運転手を決めて帰って来る体制を確保。

在庫について

撤退が近くなり、薬は箱を開けてしまうと廃棄が予想されるため、なるべく箱が空いているものから利用することに。

氏名:武長 進一(薬剤師)

体調:良好

行動日誌

6:00 起床、洗面、歯磨き等

7:00 朝食

8:00 町田チームミーティング、大槌病院仮設予定場所の確認

8:45 診療所ミーティング、業務開始

12:00 昼食

13:00 午後の診療開始

13:30 大槌病院仮設予定地、

薬局出局有無の確認、仮設住宅群及び周辺の商店などの生活環境の調査、復興祭観覧。

15:00 大槌高校に戻る。業務に復帰。

16:00 業務終了。救護所の掃除、後片付け。

17:30 釜石市へ夕食をとりに出発。

21:00 大槌高校へ戻る

22:00 就寝

避難所では夜間に廊下の椅子に座り泣いている方がいた。

復興祭では、被災者の方々はストレスを発散している様子で、おもいきりはじめていた。イベントの重要性を感じる。

業務においては、OTCを治療の補助として提供したところ非常に喜ばれ、涙を流してお礼を言われる患者さんもいた。OTCに関しては、需要を待っているのではなく治療効率を高めるための提案を医師にすべきだと思った。

氏名:齊藤 武志(総務)

体調:良好

行動日誌

- 6:00 起床
- 6:30 朝食準備
- 7:00 朝食
- 8:00 町田チームミーティングと、大槌病院仮設予定場所の確認
- 8:45 診療所ミーティング
- 9:30 大槌町海岸付近、吉里吉里の復興状況確認
- 11:30 昼食準備手伝い
- 12:00 昼食
- 13:00 掃除と、整理整頓、食材の在庫確認
- 13:30 大槌病院移転先及び仮設住宅群の確認、
再興祭の現地の方々の表情をみたら明るかった。
- 15:30 掃除、後片付け
- 17:30 釜石市へ夕食
- 21:00 釜石市より大槌高校へ到着
- 22:00 就寝

今日は土橋総務と一緒に大槌町海岸付近を確認してきた。すごい匂いとハエで、これから暑くなっていくと、伝染病などが危ぶまれる。土砂崩れになった現場も確認し、すさまじさを感じた。再興祭での現地の人たちの楽しそうな表情は、ここに来て初めて見た。総務として一緒に行動していた土橋さんとの別れで、寂しさがあふれだした。こんなに寂しくなるのは初めてで、仲間の大切さを知った。明日は、総務一人になるが、一生懸命やれることをやっていきたい。

氏名:土橋 千洋(総務)

体調:良好

行動日誌

- 6:00 起床
- 6:30 朝食準備
- 7:00 朝食
- 8:00 町田チームのミーティングを兼ねて、大槌病院仮設所の視察
- 8:45 救護所カンファレンス
- 9:30 大槌町海岸付近、吉里吉里、の復興状況を確認
- 11:30 昼食準備
- 12:00 昼食
- 13:00 食材の在庫確認と整理整頓

- 13:30 大槌病院仮設移転先、及び、仮設住宅群付近と復興祭視察
- 15:30 宿泊所(物理室)の掃除、後片付け
- 17:30 釜石市へ夕食
- 20:30 釜石市より秋田県大館市の自宅へ帰宅

今日は、大槌町の海岸付近の状況を視察に行った。海岸付近はアンモニア臭と腐敗臭や磯の匂いが入り混じた匂いがし、ハエなどの虫が多発していた。がれきなどは、まだ撤去されておらず、道路もところどころでは砂利などが敷かれただけの状況だった。

吉里吉里地区では、撤去作業車が1, 2台見られるくらいで、被災者が協力して片づけ作業をしており、非常に心を打たれるシーンで涙が出た。先の見えない作業だが住民の頑張るぞ！という強い意志を感じた。

大槌病院仮設移転先の700、800メートル先にも、仮設住宅が造られており、多くの他県車両ナンバーの業者が来て作業をしていた。完成は6月下旬くらいを目標にしているとのことだった

今日は、11:00~19:30まで大槌中学校のグラウンド(イベント)や近くの野球場(相撲)にて復興祭が開催された。集まった被災者の方々は、大きな笑い声や力士への掛け声を発しており、被災者の笑顔が眩しく感じた。

今回、被災地に派遣して頂いたことに、心から感謝をしたい。自分の目で見て感じることができ、その現状にも負けない被災者達の気持ち、優しさを感じた。

感じるだけでなく田代営業所に戻ってから、会社の仲間、家族などにしっかりと伝えなければならぬと感じた。復興という大変な作業は始まったばかりだ。戻ってからも自分にも何ができるかを考えて頑張りたい。ありがとうございました。